



**令和7年度 第3回 指定障害福祉サービス事業者 指導講習会**

# **個別支援計画作成にあたって**

**神奈川県福祉子どもみらい局福祉部障害サービス課**

## ➤個別支援計画とは

サービス等利用計画の中で記載されているそれぞれの事業所の役割を受けて、その利用者に対し、

「我々の事業所ではこのような目標をもって、これに配慮して支援をしていきます」というようなことが記入したものが**個別支援計画**です

計画にはそれぞれの事業所の支援目標・内容・配慮事項等が整理されています

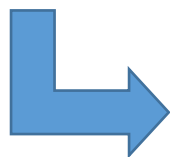
サービスの提供は個別支援計画に基づき、利用者の心身の状況等に応じ、その利用者の支援を適切に行うとともに、サービスの提供が漫然かつ画一的なものとならないよう配慮しなければなりません

### ※サービス等利用計画とは

本人・家族の希望や関係者の役割を整理してまとめた計画のことで、それぞれの事業所の支援の基礎となる計画

## ★こういうのは

- サービス等利用計画があるし支援もしているため、  
個別支援計画は作成しなかった
- 相談支援事業所が関わっているようだが、  
サービス等利用計画の内容を知らない
- 個別支援計画が数年間全く同じ内容



なんでだめ？



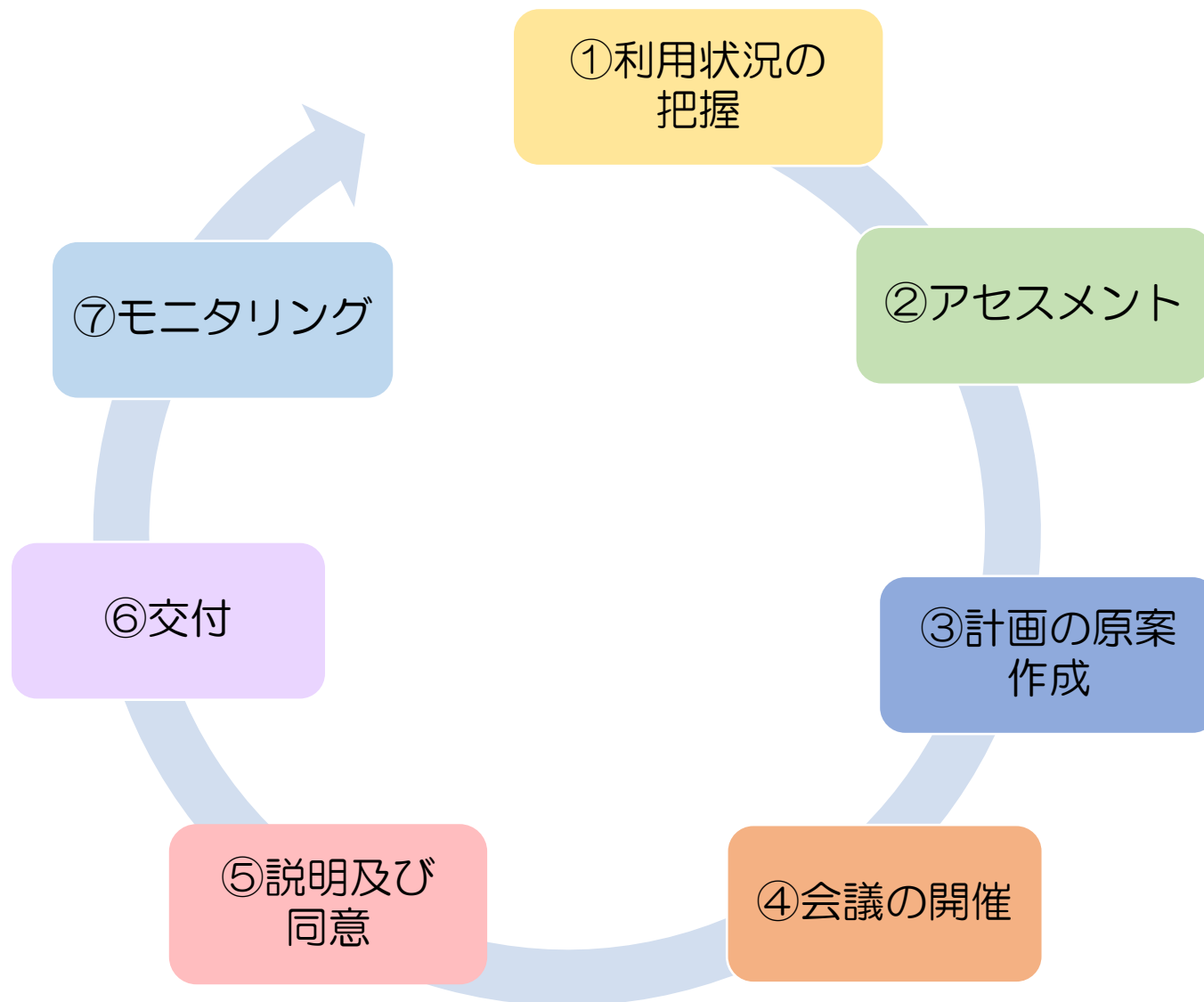
数年間同じ内容の個別支援計画だと、

➡障害特性に配慮した様々な支援を行っていたとしても、計画に基づいた  
サービスを提供していない

➡同じ計画に基づいた支援をしていたとしたら、サービス提供が  
漫然かつ画一的になっている

という指摘になる場合があります

## ➤ サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者が行う業務



## ①利用状況の把握（フェイスシート 利用者台帳等）

利用申込者の利用に際し、当該事業所以外における指定障害福祉サービス等の提供状況等の把握や利用者の心身の状況、置かれている環境等の把握をしなければならない

★こういうのは



□ サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者が利用者の障害の程度や健康情報などを知らない

□ サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者が利用者の他のサービスの利用状況を知らない

## ②アセスメント

アセスメントを行うにあたり面接の趣旨を利用者に対して十分に説明し理解を得なければならない

最低限、面談にて把握しなければならない内容

□ 利用者の有する能力の評価      □ 利用者の希望する生活の把握

□ 課題等の把握      □ 置かれている環境の評価      □ 日常生活全般の状況の評価

★こういうのは



- ☐ 面談を行う旨を利用者に説明していない
- ☐ 面談をしていない
- ☐ 利用者の希望する生活を把握していない
- ☐ 利用者の有する能力を評価できていない

### ③個別支援計画の原案作成

アセスメント及び支援内容の検討結果に基づき、障害サービスを提供する上での留意事項等を記載した個別支援計画の原案を作成しなければならない

最低限、個別支援計画に盛り込まないといけない内容

- ☐ 利用者及びその家族の生活に対する意向
- ☐ 生活全般の質を向上させるための課題
- ☐ 総合的な支援の方針
- ☐ 障害福祉サービス等ごとの目標及びその達成時期
- ☐ 障害福祉サービス等を提供する上での留意事項等

□指定生活介護等を行う標準的なサービス提供時間

標準的なサービス提供時間については、送迎や障害特性等による配慮事項に該当する者の場合、例えば以下のように、合計のサービス提供時間とその内訳がわかるように記載すること。

（個別支援計画への記載イメージ）

- ・サービス提供時間 4時間
- ・送迎に係る配慮 1時間
- ・障害特性に係る配慮 30 分
- ・送迎時の移乗等 30 分

-----  
合計のサービス提供時間 6時間

## 最低限、個別支援計画に盛り込まないといけない内容

## 児童発達支援 放課後等デイサービス

- 利用児及びその家族の生活に対する意向
- 総合的な支援目標及びその達成時期
- 生活全般の質を向上させるための課題
- 5領域※との関連性とインクルージョンの観点を踏まえた支援の具体的内容
- 個々の利用児の支援時間
- 児童発達支援、放課後等デイサービスを提供する上での留意事項等

※5領域...「健康・生活」、「運動・感覚」、「認知・行動」、「言語・コミュニケーション」、  
「人間関係・社会性」



★こういうのは



- ☐ アセスメントや支援内容の検討結果に基づいておらず、思いつきの  
ような計画
- ☐ 利用者や家族の意向が反映されていない
- ☐ 達成時期が不明。または到底達成できない目標を定め、全く同じ内容が  
続いている

#### ④個別支援計画作成に係る会議の開催

計画の原案の内容について意見を求める

★こういうのは



- ☐ 利用者が同席した上で会議が開催されていない
- ☐ サービス提供担当者等から意見を求めている
- ☐ 個別支援計画に係る会議録を残していない
- ☐ 会議に参加したサービス提供担当者の名前の記載がない

## ⑤説明及び同意

個別支援計画等の原案の内容について、利用者又は家族に対して説明し、文書により利用者の同意を得なければならない

★こういうのは



- ☐ 口頭で同意を得て、サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者が利用者もしくは家族の名前を代筆した
- ☐ 利用者が計画の内容を知らない

## ⑥交付

個別支援計画を作成したときは、計画を利用者に交付しなければならない

★こういうのは



- ☐ 計画案については、説明時に利用者等にお渡ししているが、署名捺印がある同意を得たものを利用者に交付していない
- ☐ 利用者が契約している計画相談事業所に交付していない



## ⑦モニタリング

目標達成度を評価して支援の効果を測定していくためのものであり、単に達成しているか達成していないかを評価するものではなく、提供した**支援の客観的評価**を行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断する

その際、支援目標の設定が高すぎたのか、支援内容があっていなかったのか、別の課題が発生しているのか等の視点で、これまでの支援内容等を評価し、今後もその支援内容を維持するのか、変更するのかを判断していく

### モニタリングを行うに当たっての注意点

- ☐ 定期的に利用者に面接しているか
- ☐ 定期的にモニタリングを行い、その結果を記録しているか

### ★こういうのは



- ☐ 個別支援計画を実施した評価を行っていない。またはその記録を残していない
- ☐ 障害福祉サービスごとに定められた期間内においてモニタリングを実施していない

# まとめ

サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者が行う業務は  
上記①～⑦のすべて

※これ以外にも従業者に対して技術指導及び助言等もあります

また、②～⑦の業務が適切に行われていない、又はサービス管理責任者・児童発達支援管理責任者により個別支援計画が作成されていないと減算になる場合があります